



Net.Data メッセージ



Net.Data メッセージ

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品を使用する前に、31ページの『付録. 特記事項』に記載する一般情報をお読みください。

原 典： Net.Data Messages

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 1998.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1997, 1998. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 1998

目次

第1章 Net.Data メッセージおよびコード	1
第2章 Net.Data のエラー・メッセージについて	3
エラー・メッセージ: 説明および回復情報	3
第3章 Net.Data の戻りコードおよびメッセージについて	25
戻りコード・メッセージ: 説明および回復情報	25
付録. 特記事項	31
商標	32

第1章 Net.Data メッセージおよびコード

本書は、Net.Data エラーが発生した際にユーザーに戻されるメッセージをリストし、説明します。 2 種類のメッセージがリストされています。

- Net.Data から戻されるメッセージ
- システムおよび SQL 言語環境で使用する組み込み関数から戻される戻りコード・メッセージ

第2章 Net.Data のエラー・メッセージについて

この節では、エラー発生時に Net.Data から戻されるメッセージについて説明します。

メッセージおよびそのヘルプ情報は、以下のように与えられます。

DTWA000E Net.Data は内部エラーを検出しました。

説明: Net.Data が上述の内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。
詳しくは、Net.Data の管理者に連絡してください。

各メッセージには、そのメッセージを同定するためのメッセージ番号と、エラーが発生した理由についての追加情報、そしてエラーを解決するための方法が示されています。番号の末尾には、以下のいずれかの文字があります。

- E** エラー・メッセージ。このメッセージは、Net.Data 出力の質に影響がないように、継続する前にユーザーによるなんらかの処置が必要なエラーを示します。マクロのデバッグ、Net.Data 初期設定ファイルの再構成、システム管理者への連絡、あるいは IBM 担当員への連絡などが必要な場合があります。
- I** 通知メッセージ。このメッセージは、通知目的のみのものであり、ユーザーによる処置は必要ありません。
- S** 重大エラー・メッセージ。このメッセージは、アプリケーションの終了など、非常に重大なエラーが発生したことを示します。アプリケーションの再始動、システム管理者への連絡、あるいは IBM 担当員への連絡などが必要な場合があります。
- W** 警告メッセージ。このメッセージは、小さな問題が発生したものの Net.Data 出力には影響がないため、緊急の注意は必要がないことを示します。

メッセージ・テキストには、番号が付けられ、エラーや警告条件についての短い説明があります。このテキストには、戻りコード、理由コード、SQL コードなどのほかに、ファイル、変数、言語環境名などが含まれていることがあります。これらの名前やコードは本書の文書には示されませんが、メッセージでは置き換えられています。

メッセージ・テキストとともに、説明およびユーザーの処置が示されます。この情報は、問題のデバッグ方法や、管理者に連絡する必要があるかどうかを判別する際の助けとなります。

エラー・メッセージ: 説明および回復情報

Net.Data が操作を完了するかエラーを検出すると、以下のエラー・メッセージが生成されます。

DTWA000E Net.Data は内部エラー <error_type> を検出しました。

説明: Net.Data が上述の内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Net.Data の管理者に連絡してください。

DTWA001E Net.Data は変数<variable_name> の値が脱落しているか無効であることを検出しました。

説明: Net.Data が上述の変数の値が無効であるか脱落していることを検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効な値を指定して再試行してください。変数の有効な値についての詳細は、*Net.Data* 解説書 を参照してください。

DTWA002E Net.Data は関数 <function_name> を見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の関数を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルには上述の関数はありません。有効な関数を指定して再試行してください。

DTWA003E Net.Data はパラメーター <parameter_name> にヌル値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターにヌル値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターにヌル値がないようにして再試行してください。

DTWA004E Net.Data はパラメーター <parameter_names> の数が無効であることを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターの数が無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWA005E Net.Data はファイル <file_name> を処理できません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、オープンできないために、Net.Data がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在し、Net.Data に適切な権限があることを確認してから再試行してください。

DTWA006E Net.Data 評価版ライセンスの有効期限切れです。

説明: Net.Data を使用するには、有効なライセンスが必要です。

ユーザーの処置: 有効な Net.Data ライセンスを購入し、インストールしてから再試行してください。

DTWA007E URL の QUERY_STRING 変数の構文が無効です。

説明: URL の QUERY_STRING 変数の構文が無効です。

ユーザーの処置: QUERY_STRING 変数を修正して再試行してください。

DTWA008E HTML POST 方式の入力データの内容タイプが正しくありません。

説明: HTML POST 方式の入力データの内容タイプは、"application/x-www-form-urlencoded" でなければなりません、が、違っています。

ユーザーの処置: ブラウザーの MIME タイプをチェックして内容タイプを修正し、再試行してください。

DTWA009E Net.Data はオペレーティング・システムからメモリーを割り振れません。

説明: システムのメモリー不足により、Net.Data が必要なスペースを割り振れません。

ユーザーの処置: オペレーティング・システムの状況、特に、仮想メモリーをチェックしてください。仮想メモリーが少な過ぎる場合は、使用可能メモリー・スペースを増やしてください。

DTWA010E CGI 変数 <variable_name> に無効な値 <variable_string> があります。

説明: 上述の CGI 変数に無効な値があります。

ユーザーの処置: 上述の CGI 変数に、Web サーバーが正しい値を指定しているかチェックして、再試行してください。

DTWA011E 環境変数 <variable_name> に無効な値があります。

説明: 上述の環境変数に無効な値があります。

ユーザーの処置: 上述の環境変数に、サーバーが正しい値を指定しているかチェックして、再試行してください。

DTWA012E Net.Data はパラメーターにヌル値を検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data がパラメーターにヌル値を検出しました。

ユーザーの処置: パラメーターにヌル値がないようにして再試行してください。

DTWA013E Net.Data は無効なパラメーター数を検出しました。

説明: 無効なパラメーター数が与えられました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWA014E Net.Data は無効なパラメーター数を検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が無効なパラメーター数が指定されていることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWA015E Net.Data は変数 <variable_name> の値が脱落しているか無効であることを検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が上述の変数の値が無効であるか脱落していることを検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効な値を指定して再試行してください。

DTWA016E LicDemo: ライセンス制御ファイルの作成エラー。

説明: Net.Data では、評価期間に試供ライセンスを認めることはできません。

ユーザーの処置: これは Net.Data の内部エラーである可能性があります。Net.Data をインストールしているハード・ディスクには、最低 2KB の空きスペースがあるようにしてください。スペースがある場合には、IBM のテクニカル・サポートを要求してください。

DTWA017I このサイトは Net.Data の一時ライセンスを使用しています。開始が <date> からで、評価期間は残り <days_remaining_value> 日です。

説明: Net.Data の試用期間が開始されました。数日間は Net.Data を使用できますが、この期間の後には、Net.Data の実動ライセンスを登録しなければなりません。登録がない場合は機能が停止します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA018I このサイトは Net.Data の一時ライセンスを使用しています。評価期間は残り <days_remaining_value> 日です。

説明: このメッセージは、試行期間の最初の日、および試行期間中、数日おきに時々表示されます。指定日数の間は Net.Data を使用できますが、この期間の後には、Net.Data の実動ライセンスを登録しなければなりません。登録がない場合は機能が停止します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA019E Net.Data の試用期間の期限切れです。実行するには、実動ライセンスで Net.Data を登録する必要があります。

説明: このメッセージは、Net.Data の試用期間の期限が切れると表示されます。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA020E 有効な Net.Data ライセンス制御ファイルが見つかりません。Net.Data は終了します。

説明: このメッセージは、Net.Data が見つからなくなると表示され、Net.Data ライセンス制御ファイルを検証します。

ユーザーの処置: 実動ライセンスは、IBM またはこの Net.Data 評価コピーの提供者から入手することができます。この操作を行うには、Net.Data ライセンスのインストール の項を参照してください。

DTWA021W Net.Data は <codepage1_name> から
<codepage2_NAME> へのコード・ペー
ジ・コンバーターをオープンできません。
Net.Data はデフォルト処理に切り替えて
います。

説明: 変数 DefaultNetCp、DefaultFsCp、DefaultDBCp の
1 つまたは複数に、無効なコード・ページが指定されまし
た。デフォルト処理は、以下のとおりです。

- DefaultFsCp と DefaultDBCp の間:
 - DefaultFsCp = IBM-1047
 - DefaultNetCp = ISO8859-1
- DefaultFsCp と DefaultDBCp の間:
 - 変換は行われない

ユーザーの処置: Web サーバー構成ファイルの
DefaultNetCp および DefaultFsCp に指定したコード・ペ
ージ、および Net.Data 初期設定ファイルの DefaultDBCp
に指定したコード・ページが正しいかどうか検証してく
ださい。

DTWC000E Live コネクション・マネージャーは内部
プロトコルでエラーを検出しました。
Live コネクション・マネージャーはメッ
セージ <expected_message> を予期してい
ましたが、受け取ったメッセージは
<received_message> でした。

説明: Live コネクション・マネージャーが内部通信プロ
トコル・エラーを検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWC001E Live コネクション内部機能
<function_name> はコード <return_code>
で失敗しました。

説明: Live コネクションが内部機能障害を検出しまし
た。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWC002E Live コネクション内部機能
<function_name> はコード
<return_code_value> で失敗しました。

説明: Live コネクションが内部機能障害を検出しまし
た。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWC003E Live コネクションは **CLIETTE** グループ
<cliette_group_name> のすべての
CLIETTE を開始できません。

説明: Live コネクションが上述 **CLIETTE** グループのす
べての **CLIETTE** を開始できませんでした。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWC004W Live コネクションは **CLIETTE** グループ
<cliette_group_name> の要求を処理する
CLIETTE を見つけることができません。

説明: Live コネクションが上述 **CLIETTE** グループの要
求を処理する **CLIETTE** を見つけることができませんでし
た。

ユーザーの処置: Live コネクションの構成ファイルに
CLIETTE グループ が正しく構成されていたかチェックし
てください。

DTWC005E Live コネクション・マネージャーは構成
ファイル <file_name> を読み取ることが
できませんでした。

説明: Live コネクション・マネージャーが上述の構成フ
ァイルを読み取ることができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の構成ファイルが正しく読み取れ
ません。このファイルがアクセスできるか、また、ファ
イル内の構成ステートメントが正しいかをチェックして
ください。

DTWF000E Net.Data は構成パス変数
<variable_name> を見つけることができま
せん。

説明: Net.Data を実行するには、上述のパス変数を定義
しなければなりません。

ユーザーの処置: 上述の変数を定義して再試行してくだ
さい。

DTWF001E Net.Data はマクロ・ファイル
<macro_name> を見つけることができません。

説明: 上述のマクロ・ファイルが存在しません。

ユーザーの処置: 有効なマクロ・ファイルを指定して再試行してください。

DTWF003E Net.Data は無効な言語環境
<lang_envir_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述の無効な言語環境を検出しました。

ユーザーの処置: 有効な言語環境を指定して再試行してください。マクロ・ファイルの環境パスの詳細については、*Net.Data* 言語環境解説書 を参照してください。

DTWF004E Net.Data は巡回変数定義
<var_def_name> を検出しました。

説明: Net.Data の変数定義は自己を参照できません。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルの定義セクションにある、上述の変数定義をチェックして再試行してください。

DTWF005E Net.Data は未定義の表名 <table_name>
を検出しました。

説明: Net.Data の表変数は、`x=Table(number)` として定義しなければなりません。

ユーザーの処置: 表変数が定義されているかどうかマクロ・ファイルをチェックして、再試行してください。

DTWF006E Net.Data は最大文字列長を超えています。

説明: Net.Data が処理できる最大文字列長は 320,000 文字です。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルで変数名または関数名の長さをチェックし、長さを訂正して再試行してください。

DTWF007E Net.Data は無効なフォーム・データ項目
を検出しました。

説明: フォーム・データの項目に名前がなく、変数名が予期されました。たとえば、`&:=field` のようなフォーム・データです。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、不当な項目に名前を指定して再試行してください。

DTWF008E Net.Data はフォーム・データで等号 (=)
が脱落していることを検出しました。

説明: フォーム・データには、`variable_name=variable_value` の形式が必須です。

ユーザーの処置: 無効なフォーム・データに等号 (=) を入れて再試行してください。

DTWF009E Net.Data はフォーム・データで右括弧
[] が脱落していることを検出しました。

説明: 言語環境項目のデータベース・パラメーターが右括弧 [] で終わっていません。

ユーザーの処置: フォーム・データのデータベース・パラメーターをチェックし、訂正して再試行してください。

DTWF010E Net.Data はフォーム・データでデータベース名が脱落していることを検出しました。

説明: データベース言語環境項目には、データベース名がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、データベース言語環境項目にデータベース名を指定して再試行してください。

DTWF011E Net.Data は言語環境が指定されていない
ことを検出しました。

説明: フォーム・データの言語環境項目には、言語環境名がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、言語環境項目を指定して再試行してください。

DTWF012E Net.Data は照会が指定されていないことを検出しました。

説明: フォーム・データに、データベース言語環境は含まれていますが照会が脱落しています。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、照会を指定して再試行してください。

DTWF013E Net.Data は関数が指定されていないことを検出しました。

説明: フォーム・データには、関数の指定がなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、関数を指定して再試行してください。

DTWF014E Net.Data はフォーム・データが変数 <variable_name> を定義していないことを検出しました。

説明: フォーム・データが定義されていない変数を参照しました。

ユーザーの処置: フォーム・データをチェックし、対応する変数を定義して再試行してください。

DTWF015E システム・コマンドは行番号 <number> で戻りコード <return_code> で失敗しました。

説明: システム・コマンドの実行後、Net.Data が非ゼロのシステム・エラー・コードを受け取りました。通常、これは実行が失敗したということです。

ユーザーの処置: 上述の行のシステム・コマンドの構文をチェックしてください。コマンド行からシステム・コマンドを試行して、エラーがあるかどうか検証してください。

DTWF016E Net.Data は構成ファイル <file_name> をオープンすることができません。

説明: Net.Data が構成ファイルを見つけられない、またはオープンすることができません。

ユーザーの処置: Net.Data の構成ファイルがサーバーの HTML ルート・ディレクトリーにあり、このファイルに対するアクセス許可が読み取りおよび書き込み許可であるようにしてください。

DTWF017E Net.Data は構成ファイル <file_name> を読み取ることができません。

説明: Net.Data が構成ファイルを見つけることはできませんが、読み取ることができません。

ユーザーの処置: ファイルのアクセス許可を読み取りにしてください。

DTWF018E Net.Data は最大長を超えた SQL ステートメントを検出しました。

説明: SQL ステートメントの最大文字長は 32,000 バイトです。

ユーザーの処置: SQL ステートメントを、より短い複数の SQL ステートメントに分け、結果を結合するなど短く書き直して再試行してください。

DTWF019E Net.Data は言語環境 <lang_envir_name> に接続することができませんでした。

説明: Net.Data が上述の言語環境に接続できませんでした。

ユーザーの処置: Live コネクション・マネージャーを使用する場合、Live コネクション・マネージャーを確実に構成し、正しく実行するようにしてください。データベース言語環境を使用する場合は、データベース管理者に確認してください。

DTWF020E Net.Data は関数 <function_name> に対する言語環境の型が誤っていることを検出しました。

説明: 上述の関数に指定した言語環境が誤っています。

ユーザーの処置: 言語環境の型を訂正して再試行してください。

DTWF021E Net.Data は組み込み変数 <variable_name> の値を置き換えました。

説明: Net.Data が上述の組み込み変数のユーザー設定値をオーバーライドしました。

ユーザーの処置: 通常、組み込み変数は読み取り専用で設計されているので、組み込み変数が不慮のオーバーライドを受けないようにして再試行してください。

DTWF022E Net.Data は無効な表名 <table_name> を検出しました。

説明: 変数 DTW_SAVE_TABLE_IN の値が無効な表名です。

ユーザーの処置: 変数 DTW_SAVE_TABLE_IN に有効な表名が入るようにして再試行してください。

DTWF023E Net.Data は SQL ステートメント <SQL_stmt> を実行することができません。

説明: Net.Data が上述の SQL ステートメントを実行できませんでした。

ユーザーの処置: データベース・エラー・メッセージとともに SQL ステートメントをチェックして再試行してください。

DTWF024E ZERO 別名は不当です。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF025E 検出された ZERO あるいは否定別名は不当です。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF026E Net.Data はヌル・ポインタの付いた不当な別名項目を検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF027E Net.Data は項目を別名表に追加することができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF028E Net.Data は不当な ZERO あるいは -ve 項目を検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF029E Net.Data は致命的エラーを検出し、別名表の拡張ができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF030E Net.Data は別名表から項目を削除することができません。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF031E Net.Data は変数定義の脱落を検出しました。

説明: Net.Data が一時巡回表から巡回変数を削除しようと試みました。しかし、この変数は存在しないか既に削除されています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF032E Net.Data は DLL <DLL_name> をロードすることができません。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。メモリー不足の可能性があります。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF033E Net.Data は DLL <DLL_name> の実行処理アドレスを見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の DLL をロードするためにアドレスを見つけようと試みました。メモリーが破壊されているか、ポインターに無効なアドレスが含まれています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF034E Net.Data はデータベース・コネクションをクローズすることができません。

説明: データベースが存在しないか、既にクローズされている可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF035E Net.Data のバインドができませんでした。

説明: アプリケーションはデータベースにバインドされませんでした。

ユーザーの処置: 手動によるバインドを再試行するか、システム管理者に問題を報告してください。

DTWF036E データベースの ROLLBACK ができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。たとえば、アプリケーションがデータベース表に 10 行挿入しようと試みる場合、成功するとコミットします。なんらかの理由ですべてを挿入することができない場合、ジョブを取り消すためのロールバックを試みますができなかった場合などです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF037E Net.Data は予期しない NULL コマンドを実行で検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF038E Net.Data は <name> でヌル・ポインターを検出しました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。新規演算子がヌル値を戻したか、メモリー不足の可能性があります。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

**DTWF039E Net.Data はデータベースから次のレコードを取り出すことができませんでした :
<error_trace_info>。**

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

**DTWF040E Net.Data はデータベース・カーソルをクローズすることができませんでした :
<error_trace_info>。**

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF041E Net.Data はグローバル別名表を検出することができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF042E Net.Data は言語環境 <lang_envir_type>で関数を実行することができませんでした。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF043E Net.Data 関数 :process_output は RETURN_CODE 変数を見つけることができませんでした。関数の戻りコードとして、ヌル・ストリングが使用されました。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: IBM 技術員に問題を報告してください。

DTWF045E Net.Data は DLL <DLL_name> の実行処理アドレスを見つけることができません :<error_info>。

説明: Net.Data が上述の DLL をロードするためにアドレスを見つけようと試みました。メモリーが破壊されているか、ポインターに無効なアドレスが含まれています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF046E Net.Data は無効な言語環境 <lang_envir_name> を検出しました (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が INI ファイルに無効な言語環境ステートメントを検出しました。

ユーザーの処置: 詳細については、*Net.Data* 言語環境解説書を参照してください。有効な言語環境を指定して再試行してください。

DTWF047E Net.Data はタイプ <lang_envir_name> の言語環境で関数を実行することができませんでした (行番号 <number>)。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF048E Net.Data は変数 <variable_name> の変数定義の脱落を検出しました。

説明: Net.Data が一時巡回表から上述の巡回変数を削除しようと試みました。しかし、この変数は存在しないか既に削除されています。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWF049E Net.Data は条件ステートメントで無効な入力を検出しました。

説明: Net.Data が %IF あるいは %ELSEIF 条件ステートメントに含まれる入力に誤りであると判別しました。

ユーザーの処置: 構文情報については、*Net.Data* 解説書を参照してください。条件ステートメントを訂正して再試行してください。

DTWF050E Net.Data は URL で HTML ブロック指定を見つけることができません。

説明: URL に HTML ブロックが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 有効な HTML ブロックを指定して指し試行してください。

DTWF051E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシーチャー・リストで誤った使用法指定を検出しました。使用法 <parameter_passing_specification> は IN、OUT、あるいは INOUT のいずれかである必要があります。

説明: ストアード・プロシーチャー・リストの使用法指定は、IN、OUT、または INOUT のいずれかのキーワードでなければなりません。

ユーザーの処置: 指定を訂正してください。

DTWF052E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシーチャー・リストで使用方法指定が脱落していることを検出しました。

説明: ストアード・プロシーチャーには、データ・タイプの指定が含まれていなければなりません。

ユーザーの処置: ストアード・プロシーチャーを訂正してデータ・タイプを指定してください。

DTWF053E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシーチャー・リストでパラメーター値が脱落していることを検出しました。

説明: ストアード・プロシーチャーの入力パラメーターの値が脱落しています。

ユーザーの処置: ストアード・プロシーチャーを訂正して値を指定してください。

DTWF054E Net.Data はフォーム・データのストアード・プロシージャ・リストにあるパラメーター値の終わりに引用符が脱落していることを検出しました。

説明: パラメーター値は始まっていますが、引用符で終わっていません。

ユーザーの処置: パラメーター値を訂正して、その終わりに引用符を入れてください。

DTWF055E Net.Data はフォーム・データで無効なパラメーター・リストを検出しました。

説明: 関数呼び出しのパラメーター・リストは無効です。

ユーザーの処置: パラメーター・リストを訂正してください。

DTWF056E Net.Data はフォーム・データの SQL あるいは FUNC 項目が空であることを検出しました。

説明: 項目 FUNC あるいは SQL には、関数呼び出しまたは SQL 照会を指定しなければなりません。

ユーザーの処置: フォーム・データの項目 FUNC または SQL に、関数呼び出しまたは SQL 照会を指定してください。

DTWG000E Net.Data は関数 *<function_name>* で、既存の登録 *<registry_name>* を検出しました。

説明: 上述の登録名は、既に他の登録名の定義に使用されています。指定する登録名は固有のものでなければなりません。

ユーザーの処置: 最初に上述の登録変数を除去しておくか、固有の登録名を指定して再試行してください。

DTWG001E Net.Data は関数 *<name>* で、登録 *<name>* を見つけることができません。

説明: Net.Data が上述の登録を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の登録が存在しないか、他の処理で使用中です。有効な登録を指定して再試行してください。

DTWG004E Net.Data は登録パス *<path>* を見つけることができません。

説明: 上述の登録パスが存在しません。

ユーザーの処置: 有効な登録パスを指定して再試行してください。

DTWG005E Net.Data は関数 *<function_name>* で、要求された登録操作 *<operation_name>* を実行することができません。

説明: ユーザーのユーザー ID には要求された登録操作を実行するために必要な許可がないために、登録操作が失敗しました。

ユーザーの処置: 適切な許可を入手して再試行してください。

DTWH000E Net.Data はキャッシュ・マネージャー・インターフェースで内部エラーを検出しました。

説明: Net.Data はキャッシュ・マネージャー・インターフェースで内部エラーを検出しました。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWH001E Net.Data は無効なキャッシュ名 *<name>* を検出しました。

説明: Net.Data が上述のキャッシュ名を見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、キャッシュ名を訂正して再試行してください。

DTWH002E Net.Data はキャッシュ関数へのパラメーター数が不十分であることを検出しました。

説明: Net.Data のキャッシュ関数を呼び出す際に、使用したパラメーターの数が足りませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、関数呼び出しを訂正して再試行してください。

DTWH003E Net.Data はキャッシュ関数に対して提供されたパラメーターが多過ぎることを検出しました。

説明: Net.Data のキャッシュ関数を呼び出す際に、指定したパラメーターの数が多過ぎました。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルをチェックし、関数呼び出しを訂正して再試行してください。

DTWL000E Net.Data は関数 <function_name> のパラメーター <parameter_name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターに無効なデータ・タイプ値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL001E Net.Data は関数 <name> の変数 <name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の変数で無効値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL002E Net.Data は行番号 <number> の同一関数に対する別のパラメーター・リストを検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数に異なるパラメーター・リストがあることを検出しました。指定される関数は同一のパラメーター・リストを持つ必要があります。

ユーザーの処置: 上述の関数のパラメーター・リストを訂正して再試行してください。

DTWL003E Net.Data は %FUNCTION ステートメント <name> で、データ・タイプ・パラメーターが脱落していることを検出しました。

説明: Net.Data は、SQL ストアード・プロシーチャーの呼び出しに使用するマクロで、必要なデータ・タイプ・パラメーターを見つけることができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルの %FUNCTION(DTW_SQL) ステートメントをチェックしてください。SQL ストアード・プロシーチャーに渡される各変数には、それに対して定義されたデータ・タイプがあるようにしてください。

DTWL004E Net.Data は、パラメーター値 <parameter_name> が関数 <function_name> の表境界の外側にあることを検出しました。

説明: 以下のいずれかの条件が存在します: プログラムが表の行または列の値を変更しようとしたが、受け取った行または列の値が 0 より小さいか、表で許可された行の最大数より大きかった。あるいは、組み込み関数に対する入力として行または列の値を受け取ったが、受け取った値が 0 より小さいか、表の行または列の現在の数より大きかった。

ユーザーの処置: 上述の値が 0 より小さかったり、表の現在の行数より大きかったりしないようにしてください。

DTWL005E Net.Data は関数 <variable_name> の表変数 <variable_name> にある要求されたデータのすべてを戻すことができません。

説明: 表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

DTWL006E Net.Data は関数 <function_name> でサポートされる最大バイト数を超えたデータの行を読み取ろうとしました。

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数は、サポートされる最大バイト数を行のバイト数が超えたために、データ行を表変数に読み取ることができませんでした。この表は Net.Data で処理するには大き過ぎます。

ユーザーの処置: エラーを修正して再試行してください。

DTWL007E Net.Data は FFI_PATH で指定されたパスが、関数 <function_name> でサポートされる最大バイト数を超えていることを検出しました。

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がファイルを見つけようとしたますが、FFI_PATH 構成ファイル変数で、サポートされる最大バイト数の 4095 より長いパスを検出しました。

ユーザーの処置: FFI_PATH ステートメントを、Net.Data が現在のアプリケーションで必要とするディレクトリーだけに短くしてください。

DTWL008E Net.Data は関数ブロック <block_name> で算術桁あふれあるいは下位桁あふれを検出しました。

説明: 算術演算の結果、-999,999,999 から +999,999,999 までのサポート範囲から外れる指数が算出されました。

ユーザーの処置: 計算値がサポートされる範囲にとどまるようにしてください。

DTWL009E Net.Data は関数ブロック <block_name> で空の EXEC ステートメントを検出しました。

説明: 関数ブロックの EXEC ステートメントに指定したストリングに、スペース文字しか含まれていません。

ユーザーの処置: 全桁スペース以外のストリングを指定して再試行してください。

DTWL010E Net.Data は関数ブロック <block_name> で EXEC ステートメントの脱落を検出しました。

説明: 呼び出された関数の関数ブロックで EXEC ステートメントが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: FUNCTION ブロックに EXEC ステートメントを追加して再試行してください。

DTWL011E Net.Data は無効な言語環境タイプあるいは DLL <DLL_name> を検出しました。

説明: マクロ・ファイルの Net.Data 指定言語環境タイプあるいは DLL 名は、Net.Data 構成ファイルで定義されていなければなりません。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルおよび Net.Data 構成ファイル db2www.ini をチェックして再試行してください。

DTWL012E Net.Data は関数 <function_name> で内部障害を起こしました。障害コードは <failure_code_value> です。

説明: Net.Data は上述の関数で内部障害を起こしました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWL013E Net.Data は関数 <function_name> にメモリーを割り振ることができません。

説明: サーバーが Net.Data からの記憶域要求を処理できませんでした。

ユーザーの処置: これは、サーバーにおける一時的な状態である場合があります。この問題が続く場合、追加のメモリーを購入する必要があります。

DTWL014E Net.Data は関数 <function_name> で内部エラーを起こしました。

説明: システム関数への呼び出しが失敗しました。これは Net.Data へ報告される内部エラーで、ユーザーの対応を必要とする場合があります。あるいは、Net.Data で処理するのは不適切な一時的なシステム・エラーである可能性もあります。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。この問題が続く場合、システム管理者に報告してください。

DTWL015E Net.Data は関数 <function_name> で無効な表パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは表で無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 表パラメーター値についての詳細は、Net.Data 解説書を参照してください。正しいパラメーター・タイプを指定して再試行してください。

DTWL016E Net.Data は関数 <function_name> で無効なストリング・パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効なストリングであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しいストリング・パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL017E Net.Data は関数 <function_name> で無効な出力パラメーター <parameter_name> を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL018E Net.Data は関数 <function_name> のパラメーター <parameter_name> でヌル値を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターにヌル値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターにヌル値がないようにして再試行してください。

DTWL019E Net.Data は行番号 <number> で無効な出力パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL020E Net.Data は行番号 <number> で無効な言語環境タイプあるいは DLL <DLL_name> を検出しました。

説明: マクロ・ファイルの Net.Data 指定言語環境タイプあるいは DLL 名は、Net.Data 構成ファイルで定義されていなければなりません。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルおよび Net.Data 構成ファイル db2www.ini をチェックして再試行してください。

DTWL021E Net.Data は関数 <function_name> で内部エラーを起こしました : <additional_information>。

説明: システム関数への呼び出しが失敗しました。これは Net.Data へ報告される内部エラーで、ユーザーの対応を必要とする場合があります。あるいは、Net.Data で処理するのは不適切な一時的なシステム・エラーである可能性もあります。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。この問題が続く場合、システム管理者に報告してください。

DTWL022E Net.Data はファイル <file_name> で関数 <function_name> を処理することができません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、おそらく誤った許可が原因でオープンできないために、Net.Data がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在し、Net.Data に適切な権限があることを確認してから再試行してください。

DTWL023E Net.Data は関数 <function_name> で無効なパラメーター数を検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターの数が無効であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい数のパラメーターを指定して再試行してください。

DTWL024E Net.Data は関数 <function_name> で要求されたすべてのデータを戻すことができません。

説明: 表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

DTWL025E Net.Data は関数 <function_name> で無効値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数で無効値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効なデータ・タイプが入るようにして再試行してください。

DTWL026E Net.Data は関数 <function_name> でヌル値を検出しました。

説明: Net.Data が上述の関数でヌル値を検出しました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターにヌル値がないようにして再試行してください。

DTWL027E Net.Data は関数 <function_name> で無効なストリング・パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効なストリングであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しいストリング・パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL028E Net.Data は関数 `<function_name>` で無効な表パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data が上述のパラメーターは無効な表であることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい表パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL029E Net.Data は関数 `<function_name>` で無効な出力パラメーターを検出しました。

説明: Net.Data がパラメーターが無効な出力パラメーターであることを検出しました。

ユーザーの処置: 正しい出力パラメーターを指定して再試行してください。

DTWL030E Net.Data は、行 `<value>` で変数 `<name>` の値が脱落しているか無効であることを検出しました。

説明: Net.Data が上述の変数の値が無効であるか脱落していることを検出しました。

ユーザーの処置: 上述の変数に有効な値を指定して再試行してください。

DTWP000E Net.Data は LIST 定義エラー `<file>` を検出しました。

説明: Net.Data が、事前に宣言されたとおりに上述の %LIST を定義することができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の %LIST の名前を固有の名前に変更して再試行してください。

DTWP001E Net.Data はマクロ・ファイル `<macro_name>` を見つけることができません。

説明: 上述のマクロ・ファイルが存在しないか、Net.Data がオープンできなかったために、Net.Data が上述のマクロ・ファイルを見つけれませんでした。

ユーザーの処置: 有効なマクロ・パスおよびマクロ・ファイル名を指定して再試行してください。

DTWP002E Net.Data は構成ファイル `<file_name>` を処理することができません。

説明: 上述の構成ファイルが存在しないか、オープンできなかったために、Net.Data が構成ファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述の Net.Data 構成ファイルが存在し、Net.Data に読み取り権限があることを確認してから再試行してください。

DTWP003E Net.Data は HTML 重複したブロック名 `<block_name>` `<file>` を検出しました。

説明: Net.Data は重複指定された HTML ブロックが存在するために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の重複した HTML ブロック名を固有の名前に変更して再試行してください。

DTWP005E Net.Data は不当なシンボル `<symbol_name>` `<file>` を検出しました。

説明: Net.Data は上述の不当なシンボルを検出したために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルから上述の不当なシンボルを取り除いて、再試行してください。

DTWP006E Net.Data は予期しないマクロ・ファイル `<macro_name>` の終わりを検出しました。

説明: Net.Data は予期しないファイルの終わりを検出したために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: すべての Net.Data ブロックが %} で終わるようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP007E Net.Data は %INCLUDE_URL アドレス `<URL_address>` を処理することができません。

説明: Net.Data は、URL が到達不能か無効であったため、%INCLUDE_URL アドレスの指定する URL を組み込むことができませんでした。

ユーザーの処置: 上述の %INCLUDE_URL が確実に存在するようにしてください。また、Web サーバーが実行中であるようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP008E %INCLUDE_URL の文字数に対する
Net.Data の制限がマクロ・ファイル
<macro_name> で超過しています。

説明: Net.Data は、指定 URL の内容サイズの文字数が
10000 文字より大きいために、%INCLUDE_URL を処理す
ることができませんでした。

ユーザーの処置: 指定 %INCLUDE_URL の内容サイズが
10000 文字を超えないようにして再試行してください。

DTWP009E Net.Data は複数の行にまたがった引用符
付き文字列 <string_name> を検出しまし
た。

説明: 引用符付き文字列は複数の行にまたがることはで
きません。

ユーザーの処置: 文字列が、同一行上で引用符に囲まれ
るようにしてください。上述のエラーを修正して再試行
してください。

DTWP010E Net.Data はファイル <file_name> で
%INCLUDE ステートメントを処理するこ
とができません。

説明: 上述のファイルが存在しないか、Net.Data がオー
プンできなかったために、Net.Data が %INCLUDE ステ
ートメントを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在するようにして
ください。また、Net.Data に読み取り権限を与えてくだ
さい。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP011E Net.Data はファイルあるいは URL
<file_or_URL_name> で、ネストが深過ぎ
るため、%INCLUDE あるいは
%INCLUDE_URL ステートメントを処理
することができません。

説明: Net.Data は、ファイルまたは URL のネストが深
過ぎるため、%INCLUDE あるいは %INCLUDE_URL ス
テートメントを処理することができませんでした。ネス
トする %INCLUDE ステートメントまたはブロックの最大
数は 10 です。

ユーザーの処置: 上述の %INCLUDE ファイルまたは
%INCLUDE_URL で、ネストされた深さが 10 以上の他
ファイルを組み込まないようにしてください。上述のエ
ラーを修正して再試行してください。

DTWP013E Net.Data は D2Wtable_ErrRange で例
外を起こしました。<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは
Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWP014E Net.Data は D2Wtable_ErrNoMemory
で例外を起こしました。<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは
Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWP015E Net.Data は D2Wtable_ErrInvalid で例
外を起こしました。<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは
Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWP016E Net.Data は D2Wtable_ErrTooBig で例
外を起こしました。<exception_name>

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは
Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してくだ
さい。

DTWP017E Net.Data は行番号 <number> で EXEC
変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が EXEC 変数の無効な使用を検出したた
め、処理を続行できません。

ユーザーの処置: SQL コマンド、EXEC_SQL ステート
メント名、Net.Data システム変数、条件付きストリング、
リスト変数、または他の EXEC 変数定義に上述の EXEC
変数がないようにしてください。上述のエラーを修正し
て再試行してください。

DTWP018E Net.Data は行番号 <number> の SQL コマンドにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が SQL コマンドにないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP019E Net.Data は行番号 <number> の Net.Data システム変数にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が Net.Data のシステム変数にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP020E Net.Data は行番号 <number> の他の EXEC 変数定義にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が別の EXEC 変数定義にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP021E Net.Data は行番号 <number> の条件付きストリングにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が条件付きストリングにないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP022E Net.Data は行番号 <number> のリスト変数にある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数がリスト変数にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP023E Net.Data は行番号 <number> の EXEC_SQL ステートメントにある EXEC 変数の無効な使用を検出しました。

説明: Net.Data が上述の EXEC 変数の無効な使用を検出したため、処理を続行できません。

ユーザーの処置: 上述の EXEC 変数が EXEC_SQL ステートメント名にないようにしてください。上述のエラーを修正して再試行してください。

DTWP024E Net.Data はマクロ・ファイル <macro_file> の行番号 <number> で不当なシンボル <symbol_name> を検出しました。

説明: Net.Data は上述の不当なシンボルを検出したために、処理を続行することができませんでした。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルから上述の不当なシンボルを取り除いて、再試行してください。

DTWP025E Net.Data は ELSEIF/ELSE/ELIF を想定しましたが IF <name> を検出しました。

説明: ネストされた %IF 構造が無効です。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP026E Net.Data はネストが深過ぎる IF ステートメントを検出しました <name>。

説明: 互いにネストできる IF ステートメントは 1024 だけです。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP027E Net.Data は一致していない ELSEIF/ELSE/ELIF <name> を検出しました。

説明: 対応する IF パーツのない ELSEIF/ELSE/ELIF パーツがあります。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP028E Net.Data は一致していない ENDIF
<name> を検出しました。

説明: 対応する IF ステートメントのない ENDIF ステートメントがあります。

ユーザーの処置: マクロ・ファイルのネストされた IF 構造をチェックしてください。

DTWP029E Net.Data はファイル <file> で HTML ブロック <block_name> を見つけることができません。

説明: マクロ・ファイルに上述の HTML ブロックが存在しないか、HTML ブロックが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: 有効な HTML ブロックを指定して指し試行してください。

DTWQ000E Net.Data は指定されたプランを実行するための DB2 リソースを割り振るときにエラーを検出しました : <plan_name> with ssid=<ssid_name>、戻りコード =<return_code>、理由 =<addition_information>。

説明: Net.Data が OPEN コマンドの処理中にエラーを検出しました。詳細については、*DB2 Messages and Codes* を参照してください。

ユーザーの処置: DB2 のプラン名とサブシステム ID が正しいかどうか妥当性検査を行ってください。

DTWQ001E Net.Data は DB2 リソースの割り振りを解除するときにエラーを検出しました : 戻りコード =<return_code>、理由 =<additional_information>。

説明: Net.Data が CLOSE コマンドの処理中にエラーを検出しました。詳細については、*DB2 Messages and Codes* を参照してください。

ユーザーの処置: システム・プログラマーに通知してください。

DTWQ002E Net.Data は関数 exec_start で SQLDA を割り振ることができません。

説明: Net.Data はメモリ不足で、関数 exec_start で SQLDA を割り振ることができません。

ユーザーの処置: 十分なメモリを解放して再試行してください。

DTWQ003E Net.Data は関数 exec_start で SQLDA ホスト変数を割り振ることができません。

説明: Net.Data はメモリ不足で、関数 exec_start で SQLDA ホスト変数を割り振ることができません。

ユーザーの処置: 十分なメモリを解放して再試行してください。

DTWQ004E Net.Data はバインド・ファイルが Net.Data 初期設定ファイルから脱落していることを検出しました。

説明: Net.Data が変数 BIND_FILE の値が db2www.ini に設定されていないと判別しました。

ユーザーの処置: db2www.ini をチェックし、バインド・ファイルのパスおよびファイル名に変数 BIND_FILE を設定して再試行してください。

DTWQ005E Net.Data ODBC 言語環境は環境割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ006E Net.Data ODBC 言語環境はコネクション割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ007E Net.Data ODBC 言語環境はステートメント割り振り処理を行うことができませんでした。

説明: Net.Data ODBC 言語環境は指定の割り振り処理を行うことができませんでした。

ユーザーの処置: ODBC 構成を検証して再試行してください。

DTWQ008E Net.Data ODBC 言語環境は CLI 初期設定ファイルのロードでエラーを起こしました : **return_code=<return_code>**、**error_code=<error_code>**、**info_code=<info_code>**。

説明: Net.Data 構成ファイルの変数 DSNAOINI に無効なデータ・セットが指定されています。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・セットが順次データ・セットであるかどうか、あるいは区分データ・セットのメンバーであるかどうかを検証してください。また、それが有効な CLI 初期設定ファイルを指しているかどうか、ユーザーに適切な READ (読み取り) 権限があるかどうかを検証してください。

DTWQ009E Net.Data ODBC 言語環境は DSNAOTRC の実行でエラーを起こしました : **return_code=<return_code>**、**error_code=<error_code>**、**info_code=<info_code>**。

説明: Net.Data 構成ファイルの変数 DSNAOTRC に無効なデータ・セットが指定されています。

ユーザーの処置: 指定されたデータ・セットが順次データ・セットであるかどうか、ユーザーに適切な UPDATE (更新) 権限があるかどうかを検証してください。

DTWQ010E Net.Data は無効なデータ・タイプを検出しました : **<sql_typ_name>**。

説明: Net.Data が無効な SQL データ・タイプを検出しました。

ユーザーの処置: 有効な SQL データ・タイプを指定して再試行してください。使用しているオペレーティング・システムの有効な SQL データ・タイプのリストについては、*Net.Data* 解説書のオペレーティング・システムを解説した付録を参照してください。

DTWQ011E Net.Data は ssid <ssid_name> を指定した DB2 へのコネクションの初期化でエラーを起こしました : **return_code=<return_code_name>**、**reason_code=<reason_code_name>**。

説明: Net.Data が DB2 コネクションの初期化で IDENTIFY を処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2 Messages and Codes* を参照してください。

ユーザーの処置: DB2 サブシステムの ID が正しいか、また活動状態になっているか妥当性検査を行ってください。

DTWQ012E Net.Data は ssid <ssid_name> を指定した DB2 コネクションへのユーザー <user_name> の割り当て中にエラーを起こしました : **return_code=<return_code_name>**、**reason_code=<reason_code_name>**。

説明: Net.Data が DB2 コネクションへの新規の許可 ID の割り当てで SIGNON の処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2 Messages and Codes* を参照してください。

ユーザーの処置: ユーザーが DB2 への接続許可を受けているか妥当性検査をしてください。

DTWQ013E Net.Data はプラン <plan_name> と ssid <ssid_name> を指定した DB2 リソースの割り振り中にエラーを起こしました : **return_code=<return_code_name>**、**reason_code=<reason_code_name>**。

説明: Net.Data が SQL の発行に必要な DB2 リソースの割り振りで、CREATE THREAD の処理中にエラーを起こしました。詳細については、*DB2 Messages and Codes* を参照してください。

ユーザーの処置: DB2 のプラン名が正しいかどうか、また、プランに正しい DBRM がバインドされているかどうか妥当性検査をおこなってください。

DTWQ014E Net.Data は ssid <ssid_name> を指定した DB2 へのコネクションの更新中にエラーを起こしました : **return_code=<return_code_name>**、**reason_code=<reason_code_name>**。

説明: Net.Data が上述のサブシステム ID への切り替え中にエラーを起こしました。

ユーザーの処置: DB2 サブシステムがまだ活動状態であるかどうか検証してください。

DTWQ015E Net.Data は DB2 エラーを起こしました : **SQL_code = <SQL_code>**、**reason_code = <reason_code>**。

説明: おそらく新規演算子がメモリー不足のために NULL を戻します。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWR000E Net.Data は SQL コード

<sql_code_value>、
<additional_information> の Oracle メッセージにアクセスすることができません。

説明: Net.Data が上述の Oracle メッセージにアクセスできませんでした。 Oracle 環境が正しく設定されていないか、エラー・メッセージ・ファイルにアクセスできません。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Oracle の管理者に連絡してください。

DTWU000E Net.Data は API を介してサーバーから環境変数入手することができません :

<variable_name>。

説明: Net.Data は API を介してサーバーから環境変数入手することができません。サーバーの構成ファイルをチェックして、Net.Data API のプラグインを正しく使用できるようにしてください。

ユーザーの処置: Net.Data を API プラグイン・モードで実行する場合、サーバーの構成ファイルに正しく指定しなければなりません。 *Net.Data* 管理およびプログラミングの手引き を参照して再試行してください。

DTWU001E Net.Data は NSAPI を介して Netscape サーバーからメモリー・スペースを割り振ることができません。

説明: Net.Data を NSAPI プラグイン・モードで実行する場合、Net.Data は NSAPI のメモリー管理ルーチンを介して Netscape サーバーからメモリーを割り振ります。サーバーが Net.Data にこれ以上のメモリー・スペースを割り振ることができません。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

DTWU002E Net.Data は API モードでのサーバーによる通信を失いました。

説明: Net.Data を API プラグイン・モードで実行する場合、Net.Data は API を介してサーバーを通信します。この通信リンクが失われました。

ユーザーの処置: サーバーを停止して再始動してください。

DTWU003E Net.Data は API を介してサーバーから環境変数入手することができません。

説明: Net.Data は API を介してサーバーから環境変数入手することができません。サーバーの構成ファイルをチェックして、Net.Data API のプラグインを正しく使用できるようにしてください。

ユーザーの処置: Net.Data を API プラグイン・モードで実行する場合、サーバーの構成ファイルに正しく指定しなければなりません。詳細については、*Net.Data* 管理およびプログラミングの手引き を参照して再試行してください。

DTWV000E Net.Data マクロ servlet は無効なマクロ名を検出しました。

説明: Net.Data マクロ servlet の指定マクロ名が NULL かブランク、もしくは脱落しています。 Net.Data マクロ servlet には、有効な完全修飾された Net.Data マクロ名を指定する必要があります。

ユーザーの処置: <MACRO> パラメーターを使用して有効なマクロ名を指定し、再試行してください。

DTWV001E Net.Data マクロ servlet は無効な HTML ブロック名を検出しました。

説明: Net.Data マクロ servlet に指定された HTML ブロック名が NULL またはブランクです。 Net.Data マクロ servlet には、指定の Net.Data マクロで実行する有効な HTML ブロック名が必須です。

ユーザーの処置: 指定の Net.Data マクロに、<BLOCK> パラメーターを使用して有効な HTML ブロック名を指定してください。

DTWV007E Net.Data 関数 servlet は無効な言語環境を検出しました。

説明: Net.Data 関数 servlet の指定言語環境が NULL かブランク、もしくは脱落しています。 Net.Data 関数 servlet には、有効な Net.Data 言語環境を指定する必要があります。

ユーザーの処置: <LANGENV> パラメーターを使用して有効な言語環境を指定し、再試行してください。

DTWV008E Net.Data 関数 servlet は無効な関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャを検出しました。

説明: Net.Data 関数 servlet で指定された関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャが、NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data 関数 servlet には、有効な関数名あるいは SQL ステートメントまたはストアド・プロシージャ名を指定する必要があります。

ユーザーの処置: <FUNC> パラメーターを使用して有効な関数名を指定するか、<SQL> パラメーターを使用して有効な SQL ステートメント / ストアド・プロシージャ名を指定して、再試行してください。

DTWV011E Net.Data servlet は無効な HTML パスを検出しました。

説明: 指定された Net.Data servlet HTML パスが、NULL かブランク、もしくは脱落しています。Net.Data servlet には、有効な、完全修飾された Web サーバー HTML パスを指定する必要があります (例: "e:¥ibmwww¥html")。

ユーザーの処置: <HTMLPATH> パラメーターを使用して有効な HTML パスを指定し、再試行してください。

DTWV012E Net.Commerce あるいは Net.Data マクロ servlet の固有方式により Net.Data へ渡される出力バッファが小さ過ぎます。もっと大きなバッファに渡してください。

説明: Net.Data が内部障害を検出しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: システム管理者に問題を報告してください。

DTWX000E Net.Data REXX 言語環境は、REXX ステートメントの実行でエラーを起こしました。

説明: DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトで、無効な REXX ステートメントが見つかりました。

ユーザーの処置: DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトのすべての REXX ステートメントが有効かどうか検証してください。

DTWX001E Net.Data REXX 言語環境は、結果ファイルの処理でエラーを起こしました。

説明: Net.Data が、DTWGENOU モジュールで生成された予期しないトークンを結果ファイル中に検出しました。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

DTWX002E Net.Data REXX 言語環境は、OE MVS REXX 環境の設定でエラーを起こしました。

説明: Net.Data はモジュール BPXWRBLD を取り出して OE MVS REXX 環境を作成できませんでした。

ユーザーの処置: モジュール BPXWRBLD が環境中で使用できるかどうか検証してください。

DTWX003E Net.Data REXX 言語環境は、OE MVS REXX 環境の作成でエラーを起こしました : return_code=<return_code>。

説明: Net.Data が OE MVS REXX 環境を作成できませんでした。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

DTWX004E Net.Data REXX 言語環境は、関数に対するメモリの割り振りができませんでした。

説明: Net.Data がすべての REXX 変数にメモリを割り振れませんでした。DTW_REXX インライン関数あるいは外部 REXX スクリプトの中の変数が多過ぎます。

ユーザーの処置: このエラーをシステム管理者に報告してください。

DTWY000E Net.Data は SQL コード <sql_code_value>、<additional_information> の Sybase メッセージにアクセスすることができません。

説明: Net.Data が上述の Sybase メッセージにアクセスできませんでした。Sybase 環境が正しく設定されていないか、エラー・メッセージ・ファイルにアクセスできません。

ユーザーの処置: 上述のエラーを修正して再試行してください。詳しくは、Sybase の管理者に連絡してください。

DTWZ000E マクロ・ファイルは **ACL** ファイルに出現しないため、マクロ・ファイルへのアクセスは禁止されています。

説明: マクロ・ファイルが **ACL** ファイルにリストされていないため、アクセスが禁止されています。

ユーザーの処置: **ACL** ファイルにファイルを追加して再試行してください。

DTWZ001E ユーザー `<user_name>` の認証は失敗しました。

説明: ユーザー ID あるいはパスワードが誤っているために、上述のユーザーの認証が失敗しました。

ユーザーの処置: 有効なユーザー ID およびパスワードを指定して再試行してください。

DTWZ002E **ACL** ファイルはマクロ・ファイルへのアクセスに必要な権限を認可しません：
ACL ファイル：`<ACL_name>`、マクロ・ファイル：`<macro_name>`、ユーザー ID：`<user_ID>`、ホスト IP アドレス：`<ip_address>`、ホスト名：`<host_name>`、**HTTP** 方式：`<method>`、**HTML** ブロック名：`<block_name>`。

説明: 上述のマクロ・ファイル、セクション、ユーザーの認証が失敗しました。

ユーザーの処置: エラーを修正して再試行してください。

DTWZ003E **Net.Data** は **ACL** ファイル `<file_name>` を処理することができません。

説明: 上述のファイルが正しい形式でないために、**Net.Data** がファイルを処理できませんでした。

ユーザーの処置: 上述のファイルが存在するようにしてください。また、正しい形式にしてください。

DTWZ004E **Net.Data** は無効な **MACRO_PATH** を検出しました。

説明: **Net.Data** `db2www.ini` ファイルに無効な **MACRO_PATH** ステートメントがあるか、脱落しています。

ユーザーの処置: 有効な **MACRO_PATH** を指定して再試行してください。

第3章 Net.Data の戻りコードおよびメッセージについて

この節では、Net.Data 組み込み関数を使用した際に戻される戻りコード・メッセージについて説明します。

メッセージおよびそのヘルプ情報は、以下のように与えられます。

-1002 function function. Unable to allocate memory.

説明: サーバーが Net.Data からの記憶域要求を処理できませんでした。

ユーザーの処置: サーバーに十分なメモリーを用意してください。

各メッセージには、そのメッセージを同定するための戻りコード番号と、エラーが発生した理由についての追加情報、そしてエラーを解決するための方法が示されています。戻りコード番号には、正および負の番号があります。

正の戻りコード

構文、無効値などによる関数内のエラー、あるいはシステム・エラーを示します。

負の戻りコード

Net.Data の内部エラーを示します。

メッセージ・テキストには、番号が付けられ、エラー条件についての短い説明があります。このテキストには、関数、ファイル、変数、言語環境名などが含まれていることがあります。これらの名前は本書の文書には示されませんが、メッセージには示されています。

戻りコード・メッセージ: 説明および回復情報

Net.Data は、異常な条件を検出すると、以下の戻りコード・メッセージを表示します。

-1002 **function <function>. Unable to allocate memory.**

説明: サーバーが Net.Data からの記憶域要求を処理できませんでした。

ユーザーの処置: サーバーに十分なメモリーを用意してください。

-1001 **function <function>. Internal code <code>.**

説明: 内部関数呼び出しが失敗しました。これは Net.Data の内部エラーです。

ユーザーの処置: ソフトウェアのサービス技術員に問題を報告してください。

1000 **function <function>. Function not found.**

説明: 関数呼び出しで要求された関数は、サポートされた Net.Data 関数ではありません。

ユーザーの処置: 呼び出し先のマクロ・ファイルに上述の関数があるようにしてください。関数名は、関数を呼び出す際に使用した名前であればなりません。FUNCTION ブロックの構文をチェックしてください。

1001 **Function <function_name>. Parameter <parm_name> contains a null value.**

説明: 入力パラメーターに NULL 値が含まれていました。

ユーザーの処置: 関数に渡す前にパラメーターを定義して、NULL でないことを確認してください。

1002 **function** *<function_name>*. **Parameter**
<parm_name> **contains a null string.**

説明: 入力パラメーターに、NULL で終わる文字から構成されるストリング値が含まれていました。

ユーザーの処置: 上述のパラメーターに NULL 値がないようにしてください。

1003 **function** *<function>*. **The number of**
parameters passed is not correct.

説明: 関数呼び出しで渡されるパラメーターの数が、許可された最大数を超過しているか、関数の呼び出しに必要な最小数より少なくなっています。

ユーザーの処置: 関数の構文をチェックして、必須パラメーターをすべて渡すようにし、かつ指定最大数を超過ないようにしてください。

1004 **function** *<function>*. **Parameter**
<parm_name> **is not a table.**

説明: 関数呼び出しで渡されたパラメーターは Net.Data のマクロ表変数でなければなりませんが、ストリング変数でした。

ユーザーの処置: 変数を、DEFINE ステートメントまたはブロックに TABLE 変数として定義してください。

1005 **function** *<function>*. **Parameter**
<parm_name> **is not a string.**

説明: 関数呼び出しで渡されたパラメーターは Web のマクロ・ストリング変数でなければなりませんが、表変数でした。

ユーザーの処置: 変数を、DEFINE ステートメントに TABLE 変数として定義しないでください。

1006 **function** *<function>*. **Parameter**
<parm_name> **is not an output**
parameter.

説明: 関数呼び出しでリテラル・ストリングが渡されましたが、これは出力パラメーターでなければなりません。

ユーザーの処置: 出力パラメーターに入力値を指定しないでください。パラメーター・タイプを INOUT に変更する必要がある場合があります。

1007 **function** *<function>*. **Parameter**
<parm_name> **contains a value which**
is not valid.

説明: 以下のいずれかの条件が存在します。

- サポートされる最大値を超えた値が渡された。
- サポートされる最小値より小さい値が渡された。
- サポートされる選択項目のいずれでもない値が渡された。
- ゼロより小さいか等しい表の行または列値が渡された。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

1008 **function** *<function>*. **Value**
<parm_value> **is outside of table**
bounds.

説明: 以下のいずれかの条件が存在します。

- プログラムが表の行または列の値を変更しようとしたが、受け取った行または列の値が 0 より小さいか、表で許可された行の最大数より大きかった。
- 組み込み関数に対する入力として行または列の値を受け取ったが、受け取った値が 0 より小さいか、表の行または列の現在の数より大きかった。

ユーザーの処置: 上述の値が 0 より小さかったり、表の現在の行数より大きかったりしないようにしてください。

1009 **function** *<function>*. **Variable string**
<string> **is not in the correct format.**

説明: システム・プログラムあるいは Perl プログラムによって戻されるデータの構文が正しくありません。以下のいずれかの条件が存在します。

- 等号が見つからなかった。
- 開始の引用符が見つからなかった。
- 終わりの引用符が見つからなかった。
- 値の間のスペース区切り文字が見つからなかった。

ユーザーの処置: 関数が戻すデータで構文エラーがないかチェックしてください。

1010 function <function>. Not all requested data could be returned.

説明: 表が出力パラメーターとして指定されましたが、言語環境によって戻されたデータの行数が表で許可された行の最大数より大きいものでした。データは、表がいっぱいになるまで書き込まれ、残りのデータは廃棄されました。

ユーザーの処置: 廃棄されたデータを無視することもできますし、表のサイズを大きくして再度関数を実行することもできます。

2000 function <function>. The requested file <filename> was not found.

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数が、検索を許可されたディレクトリーで上述のファイルを検出できませんでした。

ユーザーの処置: ファイルが、初期設定ファイルの FFI_PATH ステートメントによって指定されたパスにあるようにしてください。

2001 function <function>. The requested file <filename> could not be opened in the specified mode.

説明: 上述のファイルが現行の処理あるいは別の処理で使用中であったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がそれをオープンできず、指定のモードで共用できませんでした。

ユーザーの処置: 別の処理がファイルをロックしないようにしてください。

2002 function <function>. The requested file <filename> was not opened.

説明: 上述のファイルがこのマクロ起動によってオープンされなかったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数が、そのファイルをクローズできませんでした。

ユーザーの処置: ファイルは、それをオープンしたマクロによってクローズしなければなりません。行った変更は失われることがあります。

2003 function <function>. Attempted to read a row of data that exceeded the maximum supported number of bytes.

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数は、サポートされる最大バイト数を行のバイト数が超えたために、データ行を表変数に読み取ることができませんでした。

ユーザーの処置: この表は Net.Data で処理するには大き過ぎます。

2004 function <function>. A path specified in FFI_PATH exceeded the maximum supported number of bytes.

説明: フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がファイルを見つけようとしたましたが、FFI_PATH 構成ファイル変数で、サポートされる最大バイト数の 4095 より長いパスを検出しました。

ユーザーの処置: FFI_PATH ステートメントを、Net.Data が現在のアプリケーションで必要とするディレクトリーだけに短くしてください。

2005 function <function>.<System error>

説明: システム関数への呼び出しが失敗しました。これは Net.Data へ報告される内部エラーで、ユーザーの対応を必要とする場合があります。あるいは、Net.Data で処理するのは不適切な一時的なシステム・エラーである可能性もあります。この問題が続く場合、ソフトウェアのサービス技術員に報告してください。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。問題が続く場合、ソフトウェアのサービス技術員に報告してください。

2006 function <function>. The requested file <filename> could not be accessed in the specified mode.

説明: 上述のファイルが現行の処理あるいは別の処理で使用中であったために、フラット・ファイル・インターフェースの組み込み関数がそれにアクセスできず、指定のモードで共用できませんでした。

ユーザーの処置: ファイルを使用している処理を終了し、再試行してください。関数を呼び出した際にファイルが使用中である場合、自動的に再試行する RETRY 値を指定する方法もあります。

3001 **function** *<function>*. **Registry**
 <registry_name> **already exists.**

説明: 上述の登録が既に存在しているために、Web 登録の組み込み関数が Web 登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 別の Web 登録名を使用してください。

3002 **function** *<function>*. **Registry**
 <registry_name> **is in use by another**
 process or does not exist.

説明: 以下のいずれかの条件により、Web 登録の組み込み関数が上述の登録を削除できませんでした。

- 登録が別の処理で使用中であった。
- 登録を見つけられなかった。

ユーザーの処置: 登録が別の処理で使用中的である場合、その処理がクローズした後で試行してください。

3003 **function** *<function>*. **Registry entry**
 <registry_entry> **already exists.**

説明: 上述の項目が既に存在しているために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録に項目を追加できませんでした。

ユーザーの処置: Web 登録では、重複した項目を作成することはできません。項目を変更して関数を再実行依頼するか、既存の項目を使用してください。

3004 **function** *<function>*. **Registry entry**
 <registry_entry> **cannot be found.**

説明: 上述の項目が存在していないために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録から項目を削除または検索することができませんでした。

ユーザーの処置: Net.Data は要求された登録項目を検出できません。

3005 **function** *<function>*. **Registry**
 <registry_name> **cannot be found.**

説明: 上述の登録が見つからなかったために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録を使用できませんでした。

ユーザーの処置: 登録が既に存在しない場合には、作成してください。

3006 **function** *<function>*. **Path in registry**
 <registry_name> **does not exist.**

説明: 登録名にあるパスが存在しないために、Web 登録の組み込み関数が指定の登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 登録を作成する際には、パスを指定してください。

3007 **function** *<function>*. **You are not**
 authorized to perform the requested
 registry operation.

説明: 要求発行者に指定の登録への適切な権限がないために、Web 登録の組み込み関数が指定の操作を完了できませんでした。

ユーザーの処置: Web 登録の関数にある機密保護パラメーターを変更して、操作を許可してください。

3008 **function** *<function>*. **Registry**
 <registry_name> **failed to create.**

説明: 未知の原因により、Web 登録の組み込み関数が上述の登録を作成できませんでした。

ユーザーの処置: 構成をチェックして再試行してください。

4000 **function** *<function>*. **Parameter**
 <parm_name> **is not a whole number**
 or is too large.

説明: 以下のいずれかの条件が存在します。

- 入力パラメーターに整数以外の値が含まれていた。
- 入力パラメーターにサポートされる最大値である 999,999,999 より大きい値が含まれていた。
- 出力を整数で表すことができない。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

4001 **function** *<function>*. **Parameter**
 <parm_name> **is not a valid number.**

説明: 以下のいずれかの条件が存在します。

- 入力パラメーターに無効な数形式である値が含まれていた。
- 入力パラメーターに、-999,999,999 から +999,999,999 までのサポート範囲から外れる指数を指定する値が含まれていた。

ユーザーの処置: 値が範囲外であったり無効であったりしないようにしてください。

**4002 function <function>. Arithmetic
 overflow or underflow.**

説明: 算術演算の結果、-999,999,999 から +999,999,999
までのサポート範囲から外れる指数が算出されました。

ユーザーの処置: 値はサポート範囲内にしてください。

**5000 function <function>. EXEC statement
 is empty.**

説明: 関数ブロックの EXEC ステートメントに指定した
ストリングに、スペース文字しか含まれていなかった。

ユーザーの処置: 全桁スペース以外のストリングを指定
してください。

**6000 function <function>. EXEC was not
 specified in the function section.**

説明: 呼び出された関数の関数ブロックで EXEC ステー
トメントが指定されていませんでした。

ユーザーの処置: FUNCTION ブロックに EXEC ステー
トメントを追加してください。

付録. 特記事項

以下の情報は、米国で提供される製品とサービスに関するものです。本書で説明されている製品、サービス、または機能でも、米国以外の国では提供されていないことがあります。お客様の地域で現在使用可能な製品およびサービスに関する情報については、その地域の IBM 担当員にお尋ねください。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指示されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する動作の評価および検査はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む) 商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒 106 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
AP 事業所
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
555 Bailey Avenue, W92/H3
P.O. Box 49023
San Jose, CA 95161-9023

本プログラムに関する上記の情報は、適切な条件の下で、使用することができますが、有償の場合もあります。

本書において解説されているライセンス・プログラムおよびそのライセンス・プログラム資料は、「IBM 使用契約書」の契約条件に基づいて弊社から提供されるものです。

IBM 以外の製品に関する情報は、それぞれの製品の提供元、それに関する印刷物、その他の公に使用可能な情報源から得たものです。IBM はそれらの製品をテストしておらず、それら IBM 以外の製品に関して、パフォーマンスの正確さ、互換性、またはその他についての苦情を受け付けることはできません。IBM 以外の製品の機能に関しては、それぞれの製品の提供元にお問い合わせください。

著作権の使用許諾:

本書には、IBM が説明するための一例として提供している簡単なプログラムが含まれています。これらの例は必ずしもすべての場合について完全にテストされたもので

はありません。IBM はこれらのプログラムの信頼性、可用性、および機能について法律上の瑕疵担保責任を含むいかなる明示または暗示の保証責任も負いません。本書中に含まれているすべてのプログラムは "現存するままの状態" で提供されます。IBM はプログラムの商業的な使用可能性および特定の目的に対する適合性については、いかなる保証も行いません。

商標

以下の用語は、米国またはその他の国における IBM Corporation の商標です。

AIX	Lotus
DataJoiner	MVS
DB2	Net.Data
Domino	OS/2
IBM	OS/390
IMS	OS/400

以下の用語は、米国またはその他の国における IBM Corporation の商標です。

Java および HotJava は Sun Microsystems, Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT®、および Windows 95 のロゴは、Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は、X/Open Company Ltd. により例外的に許諾された米国およびその他の国の登録商標です。

その他の会社名、製品名、およびサービス名は、その他の会社の商標またはサービス・マークです。



Printed in Japan

SB88-7369-00

